

# インバウンド誘致へ期待

## 大型客船 乗客が南三陸訪問

石巻港に初めて寄港した大型客船「ダイヤモンド・プリンセス」(定員2706人・11万5875ト)の乗客が18日、南三陸町を訪れ、東日本大震災の被害から復興に進む町の様子を目にした。同港に下船したクルーズ客が訪れるのは初めてで、関係者はインバウンド(訪日外国人旅行)誘致のきっかけとして期待を寄せた。

同船は英国船籍の豪華客船で、今回は横浜港発着で17日から9日

間をかけて東北・北海道、九州、韓国を巡る。初寄港地となった石巻港へは、7月28日と9月5日にそれぞれ入港する予定だったが、いずれも台風の影響で中止となっており、今回が初めてとなった。

米国や英国など2266人の乗客は寄港後、仙台や松島、平泉など近隣観光地を回るツアーに参加。南三陸町には両国をはじめ、豪州、シンガポールなどの40人が訪れた。

企画は南三陸ホテル観洋がインバウンド誘致のきっかけにと、旅行代理店にセールス。語り部バスに乗車し、被災地の復興の様子を学びながら、南三陸さんさん商店街で買い物を楽しんだ。

参加者は、戸倉地区や被災した高野会館、防災対策庁舎を回り、語り部から震災当時の様子や復興の過程などの説明を受けた。英国から夫婦で訪れたクリス・テイラーさん(72)は「ショッピ

ングならいつでもできるが、被災地でしか学べないことがある。被災した建物が残っていないことで津波の高さを実感でき、足を運んで良かった」と話した。

同ホテルの阿部憲子おかみは「外国人に南三陸のことを知らせる良い機会になった。インバウンド誘致に生かしていきたい」と今後に期待した。



南三陸さんさん商店街を訪問した外国人ツアー客